

大統領の側近と大統領権限
—議会対策としての多数党化戦略を中心に—

東京財団政策研究所フォーラム

松岡 泰(熊本県立大学名誉教授)

2018年6月27日

[1] 大統領権限と議会対策の関連について

[2] 1970年代までは議会内での多数派工作

(例1) ケネディ・ジョンソン両政権の補佐官ラリー・オブライエン

(例2) 共和党と南部民主党の連携

(例3) 民主党と共和党穏健派との連携

[3] 二大政党間のイデオロギー対立

民主党(黒人、ヒスパニック、女性団体、労働組合) VS 共和党(白人)

→議会での多数派工作は機能不全に陥る

[4] 共和党は多数党を目指した選挙戦略を採用

(1) wedge issue を利用したネガティブ・キャンペーン

① 人工妊娠中絶の争点

② リー・アトウォーター(黒人の重罪犯ウイリー・ホートンのテレビ広告)

③ カール・ローブ(同性婚の禁止)

(2) 選挙区レベルでの対策

① マイノリティ多数派選挙区を活用(1992年以降)

② 州裁判所裁判官選挙に積極的に介入

③ 有権者IDの導入

④ 連邦検事の活用

[5] トランプの場合: 共和党指導者を罵倒して政権の座に着いた大統領

(1) 大統領予備選挙

(2) 大統領本選挙

(3) トランプ政権

グラフ 1

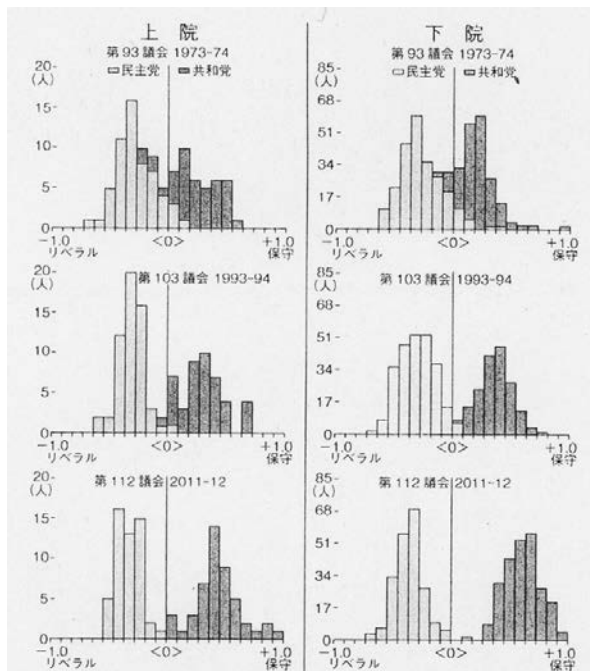


図7 連邦議会議員のイデオロギ-的分極化
(出典) Pew Research Center, (http://assets.pewresearch.org/wp-content/uploads/sites/12/2014/06/FT_14.06.13_congressionalPolarization.png).

出典 西山隆行『アメリカ政治講義』

表 1

選挙年	大統領	大統領の政党	上院多数党	下院多数党
1980	ロナルド・レーガン	共和党	民主党	共和党
1982		民主党	民主党	共和党
1984	ロナルド・レーガン	共和党	民主党	共和党
1986		民主党	民主党	民主党
1988	ジョージ・H・W・ブッシュ	共和党	民主党	民主党
1992		民主党	民主党	民主党
1992	ビル・クリントン	民主党	民主党	民主党
1994		共和党	共和党	共和党
1996	ビル・クリントン	民主党	共和党	共和党
1998		共和党	共和党	共和党
2000	ジョージ・W・ブッシュ	共和党	共和党	民主党
2002		共和党	共和党	共和党
2004	ジョージ・W・ブッシュ	共和党	共和党	共和党
2006		民主党	民主党	民主党
2008	バラク・オバマ	民主党	民主党	民主党
2010		共和党	共和党	民主党
2012	バラク・オバマ	民主党	共和党	民主党
2014		共和党	共和党	民主党
2016	ドナルド・トランプ	共和党	共和党	共和党

表 1 分割政府と統一政府（太字は大統領選挙実施年）

出典 西山隆行『アメリカ政治講義』

地図 1



ルイジアナ第4選挙区（クレオ・フィールズ）
28のバリッシュと同州最大の五つの街を結んでおり、Zの形をしている。白人33%、黒人66%。

出典 松岡泰『アメリカ政治とマイノリティ』

表 2

表 5-2 マイノリティ議員の議席数の変化

議会	下院議員		上院議員	
	黒人	ヒスパニック	黒人	ヒスパニック
第92 (1971)	12	5	1	1
第93 (1973)	15	5	1	1
第94 (1975)	16	5	1	1
第95 (1977)	16	6	1	0
第96 (1979)	16	5	0	0
第97 (1981)	16	6	0	0
第98 (1983)	20	9	0	0
第99 (1985)	19	11	0	0
第100 (1987)	22	10	0	0
第101 (1989)	23	9	0	0
第102 (1991)	25	9	0	0
第103 (1993)	38	16	1	0
第104 (1995)	38	15	1	0
第105 (1997)	36	14	1	0
第106 (1999)	36	16	0	0
第107 (2001)	36	16	0	0
第108 (2003)	36	16	0	0

注：ヴァージン・アイランド、プエルトリコ、グアム、ワシントン DC からの代表は除いている。
出典：Vital Statistics on American Politics, Fifth Edition, CQ Press, 1995, p. 187. 及び黒人議員については Ebony (Nov. 1995, May 1998, May 1999, May 2001, May 2003) を、またヒスパニック議員については Congressional Hispanic Caucus (http://www.house.gov/reyes/CHC/) を参照。

出典 松岡泰『アメリカ政治とマイノリティ』